

平成 24 年度 活動の記録
(平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)

自然災害から身を守ろう!



(土砂災害防止法基礎調査説明会の模様：久慈市)

平成 24 年の全国の土砂災害発生件数は 837 件、死者・行方不明者は 24 名と発表されています（国土交通省）。岩手県は幸いにも大きな土砂災害のない 1 年でした。

震災後の避難等で、馴染みのない場所に住んでいる方も多くいらっしゃると思います。新たな土地には思わぬ危険が潜んでいるかもしれません。危険個所の確認や避難方法を常に意識することが大切です。

特定非営利活動法人 防災ネットいわて

業務実施の方針

平成 24 年度は、これまでと同様に次の方針で事業を実施しました。

- ・ 調査研究、提案、研修活動等を通して、組織活動の活発化を図る。
- ・ 地域の問題解決を図るため、他団体からの受託事業を円滑に実施し、積極的な事業展開を図る。

活動概要

本年度の活動は、委託事業、土砂災害写真パネル展などを実施しました。岩手県からの委託事業である土砂災害防止法基礎調査説明会補助業務は、平成 24 年度で 7 年目となり、写真パネル展と共に当 NPO 活動の大きな柱になっています。

今回の写真パネル展は、岩手県砂防災害課との共催で県内外の土砂災害被害状況や東日本大震災の被災状況等を写真パネルで展示しました。また、県内の小・中学生が作成した土砂災害防止に関する絵画も掲示し、県民の方々に土砂災害や津波防災に対する理解を深めてもらう取り組みをおこないました。

平成 24 年度は東日本大震災からの復興元年と位置づけられた多忙な 1 年でありましたが、岩手県砂防災害課や振興局土木部をはじめ、多くの方々にご協力いただき、活動を続けることができました。改めて感謝申し上げます。

実施した事業および主な活動

【岩手の土砂災害写真パネル展】

実施日時：平成 24 年 6 月 4 日～15 日 8:30～17:00

実施場所：岩手県庁 1 階 県民室

概要：写真パネル展を岩手県県土整備部砂防災害課との共催で開催しました。今年は土砂災害防止月間である 6 月に開催しました。県内の豪雨災害写真や東日本大震災の津波被害の写真、防災訓練の様子のほか、県内の小・中学生が作成した土砂災害防止に関する絵画のうち、入選作 5 点も展示しました。





(土砂災害写真パネル展の様様)

【土砂災害基礎調査説明会住民周知事業】

岩手県から委託を受けて実施している同事業は、平成 24 年度で 7 年目となりました。土砂災害防止法に基づく基礎調査結果・警戒区域指定に関する説明会の資料配布と、説明会受付、説明補助、議事録の作成および住民の意識調査を行っています。

今年度は久慈市、洋野町、花巻市、大船渡市・陸前高田市・住田町で実施しました。「自分の命は自分で守る」「早めの避難」などの言葉も住民の中に根付いてきているようです。また、説明会は危険区域を住民に理解してもらうだけでなく、現地の状況を住民から行政に知らせる場でもあり、相互に理解を深める良い機会にもなっています。



大船渡土木管内の説明会担当者からは、下記のような報告、感想がありました。

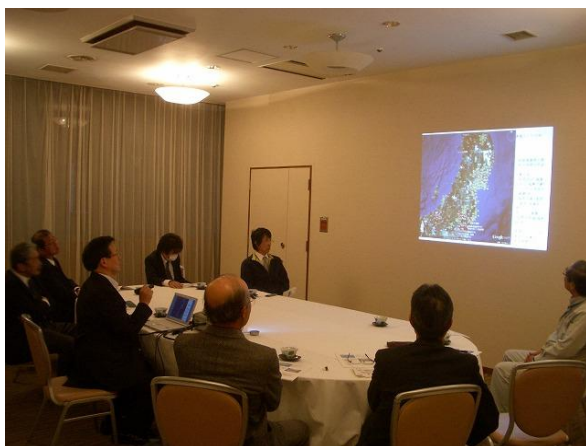
- ・震災の影響で公共、民間を問わず工事、開発が進んでいる中で、調査、指定が追いついていない。(1年前の調査結果で説明会をしても地形が改変されている。)
- ・震災により移転が増えることが予想されるため、岩手県では平成 23 年度に沿岸市町村の危険箇所を追加している。(危険箇所が 1.5~2 倍に増えている地区もある。)
- ・年を経るごとに住民の意見が厳しくなっているように感じる。
- ・今回初めて、議事録の開示を要求された。
- ・大船渡土木管内では以前に比べて 1 回の説明会の対象範囲を広げ、実施回数を減らしている。
- ・1 回の説明会で対象となる住民が多く、受付が上手くいかない時もあった。



(土砂災害基礎調査説明会の模様：大船渡土木管内)

【研修活動】

岩手県砂防災害課主催の平成 24 年度土砂災害防止研修会が 6 月 12 日に開催されました。井良沢理事長が「土砂災害対策と警戒避難」のタイトルで講演しました。



11 月 5 日には、ホテルメトロポリタン盛岡にて、近年発生した東北地方での土砂災害の発生メカニズムや対策、調査状況等について、井良沢理事長より説明を受けました。大学の研究や当 NPO と関連した成果などをわかりやすく説明していただき、活動の重要性を再確認しました。

なお、この後、井良沢先生の教授就任祝いをおこないました。

◆ 沿岸各地の津浪記念碑など

明治や昭和の津波後に建てられた石碑などを紹介します。



[宮古市赤前]海嘯記念碑(明治三陸地震津波)。左右の小さい石碑は供養塔。



[宮古市重茂 姉吉]大津浪記念碑(昭和三陸地震津波)。「此処より下に家を建てるな」で有名。姉吉集落の東端に建っている。



[釜石市片岸町]津浪記念碑(昭和三陸地震津波)。国道沿いに建っている。文字は着色されており、目立つ。



[大船渡市吉浜]津波記念石(昭和三陸地震津波)。道路建設で埋まった津波石を震災後に地元の古老が掘り出した。



[大船渡市越喜来]津浪記念碑(昭和三陸地震津波)。地震後の高所避難や低い所への住宅建設禁止が記されているが・・・。



[宮古市重茂 川代]津波到達地点(平成三陸大津波(非公式名称))。地元自治会等が平成24年7月に建立。

いくつかの石碑には、津波に対する備えや避難行動が記してあります。地域特有の事情や防災意識の風化などで、先人の経験が十分に生かされているとは言えませんでした。

当 NPO が重点対象にしている土砂災害は、毎年どこかで発生しています。防災・減災のためには、土砂災害の危険性や備えの大切さを常に伝えていくことが重要であると考えます。

<p>平成24年度 活動の記録 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)</p>
<p>平成25年2月26日 発行 (改訂1)</p>
<p>編 著：特定非営利活動法人 防災ネットいわて 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 4-4-20 TEL:019-643-8890 FAX:019-643-8892 E-Mail: bni@eins.rnac.ne.jp URL: http://www.eins.rnac.ne.jp/~bni</p>